



令和7年度
依佐美中学校学校だより
No. 1
令和7年4月21日



<http://www.city.kariya.aichi.jp/school/yochu/TopPage.html>

それぞれが新たな思いを抱き～令和7年度スタート～

令和7年4月9日(水)、249名の新入生を迎え、全校737名でスタートした今年度の依佐美中学校。入学式準備で、最高学年としての自覚をもち、入学してくる1年生が喜んでくれたり、安心して入学式を迎えられたりできるようにと、温かい気持ちを込めて準備や清掃活動に取り組んだ3年生。進級し、後輩たちの手本となるような堂々とした姿を見せた2年生。不安と希望を抱きながらも、笑顔で入学してきてくれた1年生。生徒たちのやる気や希望に満ちた表情が印象に残りました。

今年度も、この「よさっぴ通信」で、依佐美中学校の様子をお伝えしていきます。

生徒が主役 生徒が創る学校に ～依佐美中学校の教育～

【教育目標】 自尊感情を高め、確かな学力を身に付け、心身ともに健康な生徒の育成

依佐美中学校では、平成28年度から、この教育目標の下、教育活動を行っています。依佐美中学校のキャッチフレーズは、「愛あふれる学校」、キーワードは「挑」と今年度から新たに加わった「創」です。「認め合い 高め合い 支え合い そしてEYE さつ」を大切に、生徒が主役となって学校を創っています。また、依中当たり前として「挨拶・返事・時間を守る・整理整頓・気配り心配り」を大切に、3つの喜びとして「感動の喜び・創造の喜び・貢献の喜び」を追求していきます。



昨年度の活動例を挙げると、3年生の級長会が中心となり、校内の美化活動に100人以上が参加した「エンジェル隊」の活動。ボランティア制で行われた挨拶運動。生徒の声から議題を決め、生活委員の生徒が全ての司会進行を務めた、校則の見直し(靴下のワンポイントの色の自由化と頭髮基準の男女統一化)のための学年討論会や全校討論会。そして、学校・学年行事では、生徒自らが主体的に創り上げ、生き生きと活動する様子がたくさん見られました。その経験を生かし、皆さん一人一人が自身のよさを生かし、活躍できる学校になることを期待しています。依佐美中学校は「生徒が主役 生徒が創る学校」です。

新たな伝統の幕開け ～入学式・始業式～

令和7年4月9日(水)、桜の花も満開となり、さわやかな春の風が吹く中、令和7年度の入学式を行うことができました。

生徒代表として、XXXXXXXXXXさんが、「歓迎の言葉」として、依中生の仲間入りをする新入生が安心して生活できるよう、依佐美中の学校紹介を交えて、以下のような話をしました。

- ① **学年を越えたつながりを生む挨拶** … 学年を越えたボランティア制の挨拶運動をする中で先輩や後輩とのつながりが生まれ、挨拶の輪が広がっていきます。また、参加した生徒が笑顔で挨拶をするので学校全体が朝から明るく、活発になり前向きに一日をスタートできます。

- ② **級友との仲を深めるよさっぴタイム** … 毎週月曜日に行われる「よさっぴタイム」では、さまざまなお題で話をします。話しやすい雰囲気をつくれるように「あいうえお反応」をしたり、目を見て頷きながら聞き合ったりして、級友の新たな一面を知りながら仲を深めていきます。
- ③ **学校全体が一つとなる学校行事** … 全力で何かに取り組むことの楽しさを感じられるとともに、クラスの垣根を越えて応援し合ったり、協力し合ったりするなど学校全体が一体となることができます。

また、「中学校生活には、苦しいことやうまくいかないことがあると思います。しかし、仲間がいるからこそ、一緒に乗り越えることができます。自分が得意なことだけでなく、苦手なことや、新しいことにもぜひ、挑戦してみてください」と激励の言葉を贈り、新入生を歓迎しました。

続いて、新入生誓いの言葉では、[REDACTED]さんがしっかりとした口調で、新しい制服に袖を通したことで中学校生活への期待が満ちあふれてきたこと、礼儀、思いやりの心、仲間の大切さをもとに、毎日の小さな努力を積み重ね、一步ずつ成長していきたいという思いを話しました。そして、これからの三年間が充実したものになるよう、校訓を胸に、仲間と共に助け合いながら成長していきたいと誓いの言葉を締めくくりました。

式全体を通し、1年生の頷きながら聞く姿勢、真剣なまなざしは、これからの活躍を期待させるすばらしいものでした。中学校生活で、さまざまな経験する中で、自分を磨いてほしいと思います。

2・3年生は、これまでの経験を生かし、自身の成長だけでなく周りの人のために行動し、一人一人のよさを生かして活躍できる、生徒主体の学校創りを実現させてほしいと思います。

伝統の思いをつなぐ ～無言清掃伝達式～

4月16日（水）に、無言清掃伝達式が行われました。[REDACTED]さんが、「みんなでよりよい無言清掃にするために、この無言清掃伝達集会で、1年生は無言清掃を知ること、3年生は1年生に無言清掃の伝統を伝えることで、改めて価値を考え直すきっかけにしてほしい」と集会の意義を伝えました。また、「依佐美中学校では、無言で行うから無言清掃というのではなく、掃除に夢中になる、熱中するから無言になることから熱中無言清掃と言っています。掃除の時間は、学校をきれいにする時間、自分と向き合う時間です。学校をきれいにする中で、心もきれいにできる掃除だと思っています」と思いを伝えました。そして、[REDACTED]さんと[REDACTED]さんが「熱中無言清掃5か条」を伝えた後、実際に各教室で3年生が無言清掃を実演し、1年生に姿でも思いを伝えました。

無言清掃の意義を忘れず、全校生徒が同じ気持ちで清掃活動に取り組めることを願っています。

愛あふれる ちょっといい話

1年生が慣れない自転車に乗って通学をしてきた日のある朝のことです。信号が黄色になって横断歩道の前で止まった3年生に気付かずに、自転車で追突してしまった1年生が、慌てて3年生に謝ると、「大丈夫だよ。でも、危ないからちゃんと信号を見て、安全に気を付けてね。僕も、1年生の最初の頃こんな感じだったけれど、できるようになったから、がんばろう」と先輩にぶつかってしまって戸惑う1年生の子に優しく声をかける3年生がいました。最高学年である3年生の心の温かさを象徴する出来事でした。